



# 第6回ファインバブル国際シンポジウム

(平成 27 年度野村総合研究所(経済産業省)委託事業)

## ファインバブル — 国際標準化と進化するアプリケーション技術 —

日 時: 2015 年 11 月 26 日(木) 10:30—17:00 (受付 10:00~)

会 場: 大阪大学 銀杏会館 3 階 阪急三和ホール (大阪府吹田市山田丘 2-2.)

<http://www.office.med.osaka-u.ac.jp/icho/hall-jp.html>

主 催: 一般社団法人ファインバブル産業会(FBIA)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)

共 催: 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)、ファインバブル学会連合、ファインバブル地方創生協議会

後 援: 株式会社日刊工業新聞社

参加費: 無 料

言 語: 日本語および英語 (同時通訳付)

### ■開催趣旨:

ファインバブル技術は革新的技術であり、その利用範囲も洗浄分野、医療・薬品・健康分野、農業・水産分野、食品・飲料分野等非常に広範な可能性を有し、将来的にはグローバルな基幹産業の一つとなることが期待されます。2013年にファインバブル技術の国際標準化を推進するISO 専門委員会 TC281 が設立されて以来、ファインバブルの産業分野での応用の試みが日本のみならず世界に広がりつつあります。

本シンポジウムでは、ファインバブル技術の応用分野の研究開発について、国内外の第一人者の方々より研究成果や最新動向についてご紹介いただきます。また、ISO/TC281 ファインバブル技術に関する国際標準化活動状況や健全な市場創成における国際連携、今後の方向性について議論し、国際的枠組み強化や産業界の意識向上を図ります。

### ■プログラム (敬称略)

※都合により、講演題目・プログラム内容が変更される場合がございますので、ご了承下さい。

|       |  |
|-------|--|
| 10:30 | 開会挨拶 矢部 彰 国立研究開発法人産業技術総合研究所 特別顧問 名誉リサーチャー<br>ISO/TC 281/WG 1 コンビナ、FBIA 会長  |
| 10:35 | 挨拶 藤代 尚武 経済産業省 産業技術環境局 基準認証ユニット 統括基準認証推進官  |
| 10:40 | 基調講演 「ファインバブル技術の発展と応用」<br>寺坂 宏一 慶應義塾大学 理工学部応用化学科 教授、ファインバブル産業会 理事<br>ISO/TC 281/WG 3 コンビナ  |
| 11:10 | 講演 1 「ファインバブルの利用に関する「製品登録制度」及び認証 F/S の現状について」<br>田中 充 ファインバブル産業会 研究主任  |
| 11:40 | フラッシュプレゼンテーション 発生器、計測器, アプリ 各社 2 分<br>IDEC 株式会社/有限会社 OK エンジニアリング/株式会社サイエンス/株式会社島津製作所/トスレック株式会社/ナノサイト(日本カンタム・デザイン株式会社)/ベックマン・コールター株式会社/株式会社堀場製作所/マイクロメティックスジャパン合同会社/マルバーン(スペクトリス株式会社)/株式会社 Ligaric/株式会社ワイビーエム |
| 12:10 | - 休憩 -   |
| 13:30 | 講演 2 「地方自治体におけるファインバブルを活用した産業振興—地方創生と国際展開—」<br>森 学 高知県商工労働部 新産業推進課課長 ファインバブル地方創生協議会 委員   |

|       |   |
|-------|---|
| 13:45 | 講演 3 「高知県におけるファインバブルの一次産業活用ー実例からの国際標準化の必要性ー」<br>秦 隆志 高知工業高等専門学校・准教授、ファインバブル産業会 個人正会員  |
| 14:15 | 講演 4 「工業及び医療の応用事例におけるバブルの計測学」<br>Dr. Gianluca Memoli, Senior Research Scientist, National Physical Laboratory (英国)  |
| 14:45 | - 休憩 -  |
| 15:00 | 講演 5 「水力空洞化技術によって、生成されるファインバブルを用いた水産養殖におけるファインバブルの用途」<br>Mr. Matthew Tan, Associate Professor, School of Chemical and Biomedical Engineering, Nanyang Technological University (シンガポール)   |
| 15:30 | 講演 6 「ウルトラファインバブルの特性評価: バブル VS 汚染物質及び標準化への動き」<br>Mr. Andrew Malloy, Global Nanomaterials Sales Manager, Malvern Instruments Limited(英国)   |
| 16:00 | <b>パネルディスカッション</b><br>「国際標準化と進化するアプリケーション技術」<br>ファシリテーター:<br>藤田 俊弘 IDEC 株式会社、ISO/TC281 国内審議委員会委員長、FBIA 副会長<br>パネリスト:<br>矢部 彰 国立研究開発法人産業技術総合研究所 特別顧問 名誉リサーチャー<br>ISO/TC 281/WG 1 コンビナ、FBIA 会長<br>島岡 治夫 株式会社島津製作所、ISO/TC 281/WG 2 メンバー<br>Mr. Andrew Malloy Global Nanomaterials Sales Manager, Malvern Instruments Limited (英国)<br>Dr. Gianluca Memoli Senior Research Scientist, National Physical Laboratory (英国)<br>ISO/TC 281/WG 1, ISO/TC 281/WG 2 エキスパート、<br>高田 誠 三菱電機株式会社、ISO/TC 281/WG 3 エキスパート<br>Mr. Matthew Tan Associate Professor, School of Chemical and Biomedical Engineering, Nanyang Technological University (シンガポール) |
| 17:00 | 閉会挨拶  |

#### 17:00-17:30 ポスターセッション(パネル展示)、発生器・計測器等デモンストレーション

##### ■製品展示企業

IDEC 株式会社  
有限会社 OK エンジニアリング  
高知工業高等専門学校  
株式会社サイエンス  
株式会社島津製作所  
ナノサイト(日本カンタム・デザイン株式会社)  
株式会社 堀場製作所

マイクロメリティックスジャパン合同会社  
マルバーン(スペクトリス株式会社)  
株式会社Ligaric  
株式会社ワイビーエム

##### ■パネル展示

慶應大学  
京都大学

#### 立食懇親会

時間: 17:30~

場所: 大阪大学 銀杏會館 レストラン ミネルバ2階

会費: 5,000 円

※プログラム進行により、開始時間が予定より前後する可能性があります。

**参加定員を満了しましたので申し込み受付を終了致しました。(当日受付もお断りさせていただきます。)**

#### ■お問合せ先

一般社団法人ファインバブル産業会 事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-2-15 浜松町ゼネラルビル 4F

TEL: 03-6432-4242

FAX: 03-6432-4243

E-mail: [info@fbia.or.jp](mailto:info@fbia.or.jp)